

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 概要

- (1) 日 時 令和7年5月29日(木) 午後2時30分から4時30分まで
(2) 場 所 富士東高等学校 応接室
(3) 出席者 学校運営協議会委員(6人中 4人出席)
校長、副校長、教頭、事務長

2 議事等

- (1) 校長挨拶
(2) 任命書交付(校長)
(3) 参加者自己紹介
(4) 学校運営協議会について(副校長)

学校運営協議会について、設置の趣旨と任務等について、静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則及び要綱をもとに説明した。

- (5) 会長・副会長の選任
委員の中から、会長1人、副会長1人を選任した。
(6) 校内参観
しののめ探究に時間に実施していた1～3年生の「縦割り座談会」、及び併設されている富士特別支援学校富士東分校の生徒の校内作業を参観した。

- (7) 議事
ア 令和6年度学校経営報告書(自己評価)・学校関係者評価について(副校長)
イ 令和6年度「しののめ探究」取組・年度別卒業生進学状況・令和7年度部活動大会結果の報告(副校長)
ウ スクール・ポリシー及び令和7年度学校経営計画・グランドデザインについて(校長)
エ 学校経営計画の承認
令和7年度の学校経営計画の「目指す学校像」に関する事項等について、学校運営教議会から承認を得た。
オ 本校に対する御意見・御要望、質疑応答
(ア) 委員Aから
・上級生が体験や失敗談、思ったことを下級生に伝えていた。縦割りグループワークは非常によい。対話ができることがよい。
・DXハイスクールで「生成AI講座」など、専門家が指導してくれるのは素晴らしい。職場では生成AIを使っているが、アナログ対話の重要性を感じる。生成AIは、あくまでもツールであることを周知させて活用していくのがよいのではないか。
・女子の医療系希望が多い。医学部学生が命にリスクのない科を選ぶ傾向がある。皮膚科希望が多く、外科は少ない。働き方改革が進んでいないのが原因か。キャリア教育が必要である。

(イ) 委員Bから

- ・DXと共生教育の両道はよい。相手のことを思う、想像するのが共生教育の魅力である。想像力のなさゆえの失敗が多いので育んでほしい。医療系で資格取得を目指す生徒が多いのは男女機会均等法の始まった親世代の「資格をもっていれば仕事ができる」という考え方からか。もっと広い視野で学部を見られるのではないか。資格目的のための進路ではなく、興味関心→学部→仕事といった一連の進路指導を期待する。

(ウ) 委員Cから

- ・外科ではAI、バーチャルがすごい。遠隔操作等、AIが判断する治療により、医者が全責任を負わなくなっている。時代は変わっていく。DXは今後生きていく上で切っても切り離せない。小学生でもタブレットを使いこなす時代、教員が出遅れないように。「しののめ探究」でDXを活用し、新たな発見をしてほしい。
- ・これからはITスキル+英語である。特色のある学校を目指し、付加価値のある教育をしてほしい。ITスキルを身に付け、偏らない情報を得てほしい。
- ・(同窓会と協力して、少数精銳の生徒で台湾研修を企画中であるという校長説明を受けて) 英語を学ぶには台湾に行かなくてもボランティアや無料ができるものもあり、利用すべきである。
- ・今年度から「学校運営協議会」に変わったことにより、一層責任を感じる。学校運営をバックアップしていきたい。

(8) 令和7年度校内コンプライアンス委員会の設置について(副校长)

- ア 令和6年度不祥事根絶に向けた自己点検結果の報告
- イ 令和7年度不祥事根絶取組計画と教職員の生徒指導に係る共通ルールの説明

(9) 事務連絡

第2回、第3回学校運営協議会の開催について開催予定日を確認した。

以上